

投資事業評価調書（継続）

部課室名	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 松浦 猛 (副課長 太野垣 賢治)	内線	4003 (4016)
------	---------------------	---------------------	-------------------------	----	----------------

事業種目	農道整備	事業名	事業区間	総事業費	約150億円
		広域営農団地農道整備事業	南淡路地区	内用地補償費	31.32億円
所在地			事業採択年度	着工年度	完成予定年度
三原郡南淡町阿万 ~ 洲本市千草			H6	H6	H23
事業目的			事業内容		
<p>本事業は、南淡路1市4町に広がる農地4,561haを対象に、玉ねぎ(兵庫県全国2位、県内シェア95%)、レタス(同3位、94%)、キャベツなどの農産物、生産資材の流通経路の確保と輸送時間の短縮などを目的とする。</p> <p>併せて、有機土づくりによる生産性の高い循環型農業の推進、安全で快適な農村環境の整備に資するものである。</p>			<p>農道新設 延長17.0km〔残事業量7.6km〕 受益面積4,561ha 全幅10.75m 車道幅員3.0m×2車線 計画日交通量 5,770台(農業4,316台、農業外1,454台)</p> <p style="text-align: center;">延長 工期 進捗率</p> <p>1期地区 : L=9.85km H6~H18 80.6% 2期地区 : L=7.15km (H17~H23) - 工事費の負担割合(国:50%、県:35%、市町:15%)</p>		
進捗状況		<p>本地区は計画延長が非常に長いため、各市町同時に工事を進めて進捗を図ってきたが、点在する地図混乱地域の整理、震災による復元測量の追加、ほ場整備事業との進捗調整などの予定外の事項により、用地買収などに日時を要し遅延した。また、本地区はH12年度に国の農道事業の全体見直しにより、工期の長期化の防止策としてH12年度までの用地買収着手区間を1期地区、未着手区間を2期地区として見直した。1期地区は本年度に用地買収を完了し、事業効果発現が見込まれる供用開始区間を優先して工事実施中である。2期地区は、1期地区の進捗に併せてH17年度からH23年度に実施予定である。</p>			
評価視点		評価結果の説明			
(1)必要性		<p>本農道の受益地である南淡路地域は、水稻・野菜・畜産等による複合経営を行う県下でも有数の農業地帯であり、農畜産物の大部分は京阪神方面へ出荷している。なお、玉ねぎやレタス等年間約160千トンの農産物、約22千頭の牛による畜産物、更にその生産資材等の輸送の効率化が当初計画時点からの重要課題であり、その必要性は益々高まっている。</p>			
(2)有効性・効率性		<p>地域住民は、農業生産面・生活面双方から本事業の早期完成を熱望し、事業実施に積極的に協力しており、早期の完成が望まれる。</p> <p>費用便益比 B/C = 1.15であり、事業としての効果が期待できる。</p>			
(3)環境適合性		<p>地域の美しく貴重な自然環境を保護するために、潰れ地が少なくなる路線を計画し、法面にウバメガシなどの在来種の木本類を植生するなど、自然環境と景観の両面に配慮した事業実施に努めている。</p>			
(4)優先性		<p>施行済み区間は、関係市町毎の工事実施や、ほ場整備との同時施工等の関係により、分断された路線となっており、地域の基幹農道であることから連続的に完成して全体効果が発現するため、未施行区間の継続実施が不可欠である。</p>			
再評価の結果	継続	左の理由	<p>上記の理由により継続が妥当である。</p>		